

## テーマの設定理由

園庭は、起伏に富み、緑豊かな自然環境に恵まれている。ただ、たくさんの樹木や池がある、というだけでなく、多様な樹木の種類や特徴、池に住む生物などに更に自ら関わり、探究を深めてほしいと考えた。

## 活動スケジュール

10月下旬～

学級ごとに親子で週明けの登園前、園庭の落ち葉はきを行い。落ち葉を集め遊びに使う。

11月4日

4歳児が港区環境課・アオイ環境(株)の方と一緒に園庭の池、池周りを掃除し、生物調査をする。

11月5日

4歳児と希望保護者が、学芸員から「樹木の話」を聞き、葉っぱから園庭の樹木を探したり、樹木の名前を覚えてもらったりする。



## 環境の構成

日々の遊びの中で、幼児が興味・関心をもっていることの中から活動を決めて準備をした。

- ・落ち葉はき…事前に学級ごとに実施日を決め、大人用・子ども用の熊手を人数分準備した。
- ・生物調査…池の底が掬える水生生物用の網、虫取り網、バット、観察ケース等を準備した。
- ・樹木の話…園庭の様々な樹木の葉を前もって採取し、特徴が分かりやすいようにテーブルに並べ葉をヒントにどの樹木なのかを探すゲームにした。

## 活動事例

\* 池やその周辺にはどのような生き物が住んでいるのか調べる。



・生き物に興味がある幼児が多かったため、池を掃除してどのような生き物がいるのか調べた。寒い時期にもかかわらず、メダカやヤゴなどの生息が確認できたことに幼児は驚いていた。また、池の周りにも生き物がいることが分かったことで、落ち葉の下や丸太・粗朶の下など生き物がいそうな場所を探し、テントウムシやオオヒラタシテムシなどを見つけた。

## 振り返りを踏まえた気付き

暖かい時期には何気なく捕まえていた生き物であるが、今回の活動を通して、時期によって生息する生き物の種類や生息場所に違いがあることを幼児たちも理解した。寒い時期は、生き物は活動していない、と捉えるのではなく、その時期にはどのような場所にどのように生息しているのか教師が知っていることで、幼児への言葉掛けや関わり方が変わってくると実感した。教師も探究心をもって関わっていくことの大切さを改めて学んだ。